

身長95センチの取材参加記

あまりに過酷な取材は児童福祉法違反よ！

fuchinkanの娘（姉）

本誌の新鋭記者、fuchinkanの娘（姉）でえす。
ピチピチの3歳6ヶ月でえす。よろしくね。

ここでは香川県の金刀比羅宮に取材に行ったことを
書きま〜す。

パパの話だと、WOOには若い女の子というだけで寄ってくるこわいおじ
さんがいるということなので生まれた瞬間から注意しないとイケませんが、
今回はふじいとSさんなので安心です。

まずは琴平神宮についてのお勉強です。ブロードバンドの普及で調べ学習
は楽になったわね。コピペするので流し読みしてね。

讃岐・金刀比羅宮（さぬき・ことひらぐう）

当宮は琴平山（象頭山）の中腹に鎮まる。「玉藻集」や「讃州府志」などには
それぞれ、「この山の鎮座已に三千年に向（ちか）づく」とある。初め、大物主
神をまつり、往古は琴平神社と称す。中古、本地垂迹説の影響を受け、金刀毘羅
大権現と改称、永万元年に御相殿に崇徳天皇を合祀する。その後、明治元年に神
仏混淆が廃せられて元の神社に復り、同年7月に宮号を仰せられて、金刀比羅宮
と改称され、現在に至る。

御祭神大物主神は天照皇大神の御弟、建速素盞鳴命の御子、大国主神の和魂神
で農業殖産、漁業航海、医薬技芸に至る百般の事業と、その威徳、ご神徳は広汎
に及ぶ。

古伝によれば、そのかみの琴平は瀬戸内海の海水深く湾入し、潮は常に山麓を
洗い、湾奥に横たわる良き碇泊所であり、大神はこの琴平山に行宮を営まれ、表
日本ご経営の本拠地と定めて、中国、四国、九州の統治をされたといわれている。
その行宮跡に大神を奉斎されたと伝えられる。

鬱蒼たる樹林に囲まれた琴平山の各所には、今も往古の遺跡と思われる地点が
あって、大神様のご偉業が偲ばれる。また、前述の謂われもあって、今もなお“
海の神様”として広く親しまれているのである。

琴平神宮ホームページより抜粋



アンパンマン列車に乗ってJR琴平駅に着きました。ここは琴平神宮の門前町、駅から神社までしっかりとした街並みが続きます。

ここでは後に控える石段登りに備えてパパにだっこをお願いしました。だっこしてもらえると普段に比べ視点が1m上がります。見え方がまるで違います。しかしパパはガラスの腰を持つ男、なかなか長時間だっこはしてくれません。だっこしてもらったり自力で歩いたりとパースペクティブの変化を楽しみながら、うどん屋やお土産屋、酒蔵が軒を連ねる商店街を進みました。

面白かったのはマルキン醤油の販売店です。この店頭では全国でもここだけ(?)という醤油ソフトクリームが売られています。ここで後に控える石段登りに備えて栄養補給。私は保守的なので普通のバニラを食べましたが、Sさんは醤油ソフトを食べていました。ちなみに値段は300円でした。



さていよいよ石段登りです。パパは私がギブアップすると見て駕籠の値段を調べたりしていましたが、なんのなんの。ぜったい上まで登るといふ決意を秘めて来ているのです。

100段目を越えると鳥居があり、ここが「一之坂」。パパは駕籠をあきらめたのか、お土産屋さんで帽子代わりに菅笠を買っています。ここから急に勾配がきつくなります。石段の高さが1段30cmくらいはあったのでしょうか。大変です。分かります？自分の身長のおよそ1/3もある階段がずっと続いているのです。

350段くらいでりっぱな門があります。ここが「大門」。ジュース売りのおばさんに声をかけてもらいました。ここで半分凍ったポカリを買ってもらい一服しました。

ここからが境内です。勾配を感じない程度のなだらかな上り坂です。桜の馬場と呼ばれ、春には桜がきれいだそうです。

そのあとまた急な登りがあります。華麗な「旭社」が石段の先に見えてきます。ゴールが見えるとあと少し頑張ろうと気合いも入りますね。頑張って登りきりました。



石段登りスタート！順調に飛ばす。



高い石段の連続。途方に暮れる。

ここで休憩。「大門」で買った凍りポカリも飲み頃になっています。飲んで汗を拭いてリュックに入れてきたワンピースに着替たら、さらに上の「御本宮」を目指し出発。



ポカリで一服。おっさんみたい。

「四段坂」と呼ばれる石段は鬱蒼とした森の中。でも森林浴を楽しんでいる余裕はありません。今までで一番の急坂です。手もついてよじ登るようにして上がりました。同い年くらいの男の子も一人で登っています。競争です。男子なんかには負けるか、と思うと力がでます。

一段一段登るごとに石段の空の間に「御本宮」の屋根が見えはじめ、さらに登ると軒が見え、そして建物の全容が姿を見せました。785段を登りきったのです。最後までパパや大人の助けを借りずに登りきったことに、私はとても満足しました。

「御本宮」は海上交通の神様を祀っています。「絵馬堂」には堀江謙一さんが太平洋横断に使用したソーラー艇「マーメイド」号が奉納されています。他にも船やヨットの写真がいっぱいありました。さすが海の守り神ですね。

